

チェルムスフォードの風 in 2018

(12日目)

3月27日(火)。いよいよ最終日。朝から冷たい雨が降っています。生徒たちは出発前、ホストファミリーとの最後の別れを惜しみます。涙の別れ、笑顔の別れ、別れのハグ。みんな、本当にホストファミリーにはよくしてもらいましたね。Barbaraは全員分のユニオンジャックの国旗をプレゼントしていただきました。その旗をふりながら、チェルムスフォードともお別れです。



途中、交通渋滞もあり2時間ほどで見学地である St. Albans に到着しました。Cathedral内を見学しました。ステンドグラスがとてもきれいでした。St. Albansの街で温かい飲み物を買ったり、かわいい雑貨屋さんを巡ったり…。歴史を感じさせる街並みでした。その後、バスで軽食をとりながら、1時間足らずでヒースロー空港に到着。バスを降りたところで Stella先生とお別れです。優しい Stella先生には本当にお世話になりました。



空港入り口で荷物の確認。23kgを超えていないか、みんなちょっぴり心配そう、副団長がみんなのスーツケースの重さの一つずつ測ってくれました。どのスーツケースも重いのに…。ありがとう！みんな安心してチェックインカウンターに向かいました。荷物を預けて、出国手続きに進みます。荷物検査は日本よりも厳しく感じましたが、全員スムーズに通

過。ここで1時間ちょっとの自由時間。広い空港内をウィンドーショッピングをしたり、お土産を買ったり、最後までそれぞれ楽しみました。

いよいよイギリスともお別れです。朝降っていた雨はすっかり上がり、太陽の光が差し込みます。ヒースロー空港から、12日間の思い出を振り返りながら、離陸しました。離陸後は機内食を食べたり、友達と話したり、映画を見たり…くつろいで過ごしました。



チェルムスフォードの風 in 2018

(13日目)

約12時間の長いフライトを経て、日本に帰国しました。”春のあたたかな日本の風”を感じながら、イギリスでの出来事をそれぞれご家族でお話しているところでしょう。素晴らしい経験、これからも繋がりたい仲間、忘れられない思い出、そして「あのときこんなふうに言いたかった！」とか「あのときもっと話したかった！」などのちょっぴりの後悔。その全てが、みなさんを成長させてくれます。

さて、現実が戻ってきます！残りわずかの春休み、元気に過ごしてくださいね。

6期生20人のみなさん、お疲れさまでした！

